

和歌山縣報

第五百四號

大正六年十月二十六日
金曜日

○縣令

○和歌山縣令第二十二號

柑橘輸出検査規則左ノ通相定ム

大正六年十月二十六日

柑橘輸出検査規則

- 第一條 本縣產蜜柑(温州、紀州及ハツ代等ノ類)ニシテ北亞米利加合衆國ニ輸出セムトスルモノハ本則ニ依リ検査ヲ受クヘシ
- 第二條 検査ハ柑橘検査吏員之ヲ行フ
- 第三條 柑橘検査吏員ハ柑橘検査監督員及柑橘検査員トス
- 第四條 柑橘検査監督員及柑橘検査員其ノ職務ヲ行フトキハ第一號様式ノ證票ヲ携帯スヘシ
- 第五條 検査吏員ハ自己又ハ其ノ親族ノ權利義務ニ關係アル柑橘ヲ検査スルコトヲ得ス
- 一、產地密柑畑ニ柑橘潰瘍病存在ノ証跡ナキコト
- 二、柑橘潰瘍病ニ侵サレ居ル形跡ナキコト

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

第六條 果園検査ヲ受ケントスル者ハ九月十日迄ニ第二號様式ニ依リ選果検査ヲ受ケムトスル者ハ積出期日ヨリ少クトモ七日前ニ第三號様式ニ依リ本縣柑橘同業組合聯合會ヲ經由シ申請書ヲ提出スヘシ但シ果園検査ニ合格シタルモノニ非サレハ選果検査ヲ受クルコトヲ得ス

第七條 果園検査ハ申請ニ係ル果園ニ於テ選果検査ハ別ニ指定セル検査場ニ於テ之ヲ行フ

第八條 果園検査ニ合格シタル者ニハ第四號様式ニ依ル證明書ヲ交付ス

前項ノ證明書ヲ得タル者ハ其ノ果園ノ見易キ場所ニ其ノ旨標示スヘシ

第九條 選果検査ニ合格シタル者ニハ第五號様式ノ證明書ヲ交付シ且第六號様式ノ證印ヲ箱ノ外部側面ニ押捺ス

前項第五號様式ノ證明書ヲ受ケタル者ハ送狀一通毎ニ之ヲ添付スヘシ

第十條 検査済ノ箱ヲ開披シ又ハ破損シタルトキ其ノ他特ニ必要ヲ認メタルトキハ検査吏員ヲシテ再検査ヲ行ハシメ検査證明書ヲ取消スコトアルヘシ

第十一條 果園ニ於ケル消毒施行及果實ノ搬入搬出又ハ移轉ニ關シテハ當該検査吏員ノ指揮ニ從フヘシ

第十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

一、第一條ニ違反シタル者

二、第九條第二項ニ違反シタル者

三、第十條ノ検査ヲ拒ミタル者

四、検査済ノ箱ヲ開披シ又ハ破損シタル場合ニ於テ第十條ノ再検査ヲ受ケスシテ之レヲ北亞米

利加合衆國ニ輸出シ又ハ輸出セムトシタル者

第十三條 法人ニ對スル刑ハ科料トシ法人ノ代表者ヲ以テ被告トス

第十四條 受檢者ハ其ノ家族、代理人、雇人又ハ其ノ他ノ從業者ニシテ本則ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ責ヲ免ル、コトヲ得ス

前項ノ規定ハ法人ニ在リテハ其代表者、未成年者ニ在リテハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス

附 則

第十五條 本則ハ大正六年十月廿六日ヨリ施行ス

第十六條 果園檢査ノ申請期日ハ大正六年ニ限リ十月三十日迄トス

第壹號様式

三 寸

第 號

表 柑橋檢査吏員証票

職 氏 名

一寸七分

裏

和 歌 山 縣 印

第貳號樣式

果園檢査申請書

果園所在地	反別

右檢査御証明相成度此段申請候也

住所

何

某

印

知事宛

第三號樣式

選果檢査申請書

- 一、栽培者又ハ所有者氏名
- 二、選果所ノ位置
- 三、箱詰ヲ爲ス豫定月日

四、出荷ノ個所及豫定月日

五、荷標及數量

六、荷受人住所氏名

右來ル 月 日(出帆港名)出帆(船名)ニ搭載シ(仕向地)(輸出致シ度候付検査御証明相成度此段申請候也

年 月 日

住 所

何

某 印

知 事 宛

第四號樣式

第 號

受 檢 者 住 所 氏 名

右 月 日付申請ニ係ル

郡市

町大字

番室柑園何歩ハ果園検査ニ合格シタルコトヲ

証ス

年 月 日

知 事

第五號樣式

NO.....

CERTIFICATE

This is to certify that the Satsuma Oranges included in this shipment as per invoice attached were inspected by the fruit inspector

191....., and are believed by the inspector to be free from visible infection with citrus canker and the orchards in which the oranges were grown do not show any evidence of the presence of the disease

.....

Chief fruit inspector.

Wakayama Prefectural Government

JAPAN



Issued date: 191

Number of permit, NO

Number of packages, NO

Mark

Port of departure

Port of destination

District of locality where grown

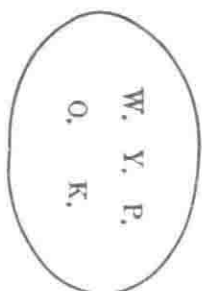
Name and address of the exporter

Name and address of the consignee

第六號樣式

+

||



||

+

○ 告 示

○和歌山縣告示第三二七號

神奈川縣橋樹郡川崎町在若尾新田

電氣製鐵株式會社

右電氣事業經營準備ノ爲土地立入測量ノ件本日左記ノ通許可ス

大正六年十月二十六日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

記

一、許可期間 許可ノ日ヨリ向フ一箇年間

一、立入ルヘキ土地ノ區域 和歌山縣有田郡八幡村、岩倉村、城山村、石垣村、鳥屋城村、安壽村、

伊都郡花園村

○和歌山縣告示第三二八號

大阪府ニ於テ左記ノ通狂犬病發生ノ旨通知アリタリ

大正六年十月二十六日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

記

番號	獸別	種類	性	病名	發見月日	轉歸月日	診斷方法	發	生	地
一二	犬	雜種	牡	狂犬病	八月十九日	全日撲殺	動物試驗	東成郡城北村大字荒生		

○和歌山縣告示第三二九號

肥料検査官吏ニ左記異動アリタリ

大正六年十月二十六日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

記

肥料検査官吏和歌山縣技手上田忠次ハ大正六年十月二十日依願免官ニ依リ肥料検査官吏ノ職務消滅ス

○和歌山縣告示第三三〇號

左記自轉車鑑札紛失ニ付自今無効トス

大正六年十月二十六日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

鑑札番號	紛失年月日	住	所	氏	名
西第六二〇號	大正六年四月十日	湊村大字湊		橋本吉太郎	
全五、一二二號	八月十七日	上秋津村		大平宗四郎	

全 一、五一〇號	全	八月廿二日	田邊町大字上屋敷町	岡本虎藏
全 一九三號	全	八月十三日	全本町	杉若與八
全 九一三號	全	八月二十日	秋津川村	但馬良右衛門
全 一、一六〇號	全	七月十六日	田邊町大字下屋敷町	長瀬平吉
全 一、三二六號	全	七月十三日	串本町	濱 鶴松
有第二五三號	全	八月十八日	湯淺町大字湯淺	小原米太郎

○和歌山縣告示第三三一號

大正七年度吳鎮守府管内ニ於テ左記兵種ノ海軍志願兵ヲ徵募セラル志願兵ハ來ル十二月二十日迄ニ願書ヲ所轄町村役場市役所及郡役所ヲ經由シ當廳ニ差出ス可シ

但志願シ得可キ者ノ資格並ニ出願ノ手續等ニ付テハ最寄町村役場市役所又ハ郡役所ニ就テ承合ス可シ

大正六年十月二十六日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

記

水兵、機關兵、軍樂生、木工、看護、主厨

○和歌山縣告示第三三二號

左記ノ者頭書ノ番號ヲ以テ本日和歌山縣產婆名簿ニ登録ス

大正六年十月二十六日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

記

番 號 住 所 身 分 名 氏 生 年 月

第九八一號 和歌山市十番丁九番地 土岐 小いと 明治十四年九月十五日生

○和歌山縣告示第三三三號

海草郡和歌浦町千四百七十八番地

開業産婆 大森 カメノ

右今般離婚ノ旨ヲ以テ願出ニ依リ本日左ノ通和歌山縣産婆名簿ヲ訂正ス

大正六年十月二十六日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

海草郡雜賀村大字西濱千四百九十四番地

西出 カメノ

○和歌山縣告示第三三四號

縣吏員職員ニ屬スル退職料又遺族扶助料支給規則別紙ノ通り制定ヲ爲シタル旨嚴手縣ヨリ通知アリ
タリ

大正六年十月二十六日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

別 紙

○巖手縣吏員職員退職料退職給與金及遺族扶助料支給規則
縣令第一號(明治四十四年一月六日)

(沿革) 大正三年一月縣令第四號改正

巖手縣吏員職員退職料退職給與金及遺族扶助料支給規則左ノ通定ム

巖手縣吏員職員退職料退職給與金及遺族扶助料支給規則

第一章 總 則

第一條 縣吏員及職員退職又ハ死亡シタルトキハ本規則ノ定ムル所ニ從ヒ退職料退職給與金遺族扶助料ヲ給ス

第二條 縣吏員及職員ハ其ノ俸給百分ノ一ヲ縣ニ納入スヘシ

但シ日給手當並兼職ニ依ル給與ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

第三條 縣吏員及職員ノ在職年數ハ本縣ニ於ケル就職ノ月ヨリ起算シ退職又ハ死亡ノ月ヲ以テ終リトス

但シ左ニ掲クル月數ハ之ヲ算入セス

一、一年ニ滿タサル月數

二、日給手當又ハ兼職ニテ在職シタル月數

第四條 兼職ニ依リテ受クル給與ハ退隱料退職給與金及遺族扶助料ノ額ヲ算定スルニ當リ之ヲ算入セス

第五條 退隱料及遺族扶助料ノ支給ハ支ノ事由ノ發生シタル翌月ニ始マリ停止若ハ廢止ノ事由ノ生シタル月ニ終ル

第六條 退隱料及遺族扶助料ノ年額竝退職給與金ノ圓位未滿ハ之ヲ圓位ニ滿タシム

第七條 退隱料退職給與金及遺族扶助料ノ支給ハ各權利者ノ請求ニ依リ知事之レヲ裁定ス

第八條 退隱料退職給與金及遺族扶助料ハ之ヲ受クヘキ事由ノ生シタル後三ケ年以内ニ請求スルニ非サレハ之ヲ給セス

第九條 退隱料退職給與金及遺族扶助料ヲ受クル權利ハ之ヲ賣買讓與シ又ハ債權ノ擔保ト爲スコトヲ得ス

第二章 退 料

第十條 縣吏員及職員在職十五年以上ニシテ左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ終身退隱料ヲ給ス

一、年齡六十歳ヲ超ヘ退職シタルトキ

二、傷痍疾病ノ爲其ノ職ニ堪ヘス退職シタルトキ

三、廢職廢解又ハ事務ノ都合ニ依リ退職シタルトキ

前項ノ退隱料年額ハ退職當時ニ於ケル俵給年額ノ二百四十十分ノ六十トシ在職十五年以上四十年ニ至ル迄一年ヲ加フル毎ニ俵給年額二百四十十分ノ一ヲ増加ス

第十一條 職務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ一肢以上ノ用ヲ失ヒ又ハ之ニ準スヘキ者ト爲リ其ノ

職ニ堪ヘス退職シタル者ニハ終身退隱料ヲ給ス但シ其ノ額ハ前條ニ依リ算出シタル額トシ其ノ在職十五年未満ノ者ハ十五年ノ額トス

前項ノ場合ニ在リテハ特ニ其ノ年額十分ノ七迄ヲ増加スルコトヲ得

第十二條 一時退職ノ後再ヒ就職シタル者ノ在職年數ハ前後ノ月數ヲ通算ス但シ自己ノ便宜ニ依リ

退職シ又ハ懲戒處分若ハ刑事裁判ニ依リ失職シタル後再ヒ就職シタル者ニ在リテハ前在職ノ月數ハ之ヲ除算ス

第十三條 退隱料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者再ヒ就職シ勤続一年以上ニシテ退職シタルトキハ左ノ

區分ニ依リ退隱料ヲ給ス

一、退職當時ノ俸給前後相同シカラサルトキハ前後ノ年數ヲ通算シ後職ニ對スル退隱料額ト前

退隱料額トヲ比較シ其ノ多キ方ヲ給ス

二、退職當時ノ俸給前後相同シキトキハ勤続年數ニ應シ退隱料額ヲ増加ス但シ前職十五年未満

ニシテ退隱料ヲ受ケタル者ニ在リテハ前後通算シテ十六年以上ニ至ラサレハ増加セス

第十四條 退隱料ヲ受クヘキ者前ニ退職給與金ヲ受ケタルトキハ最初ノ十ケ年間ニ退職給與金ノ十

分ノ一ニ相當スル金額ヲ退隱料年額中ヨリ控除シテ之ヲ給ス

第十五條 退隱料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ其ノ權利ヲ失フ

一、國籍ヲ喪失シタルトキ

二、六年ノ懲役若ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレ又ハ舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタルトキ

三、在職中ノ犯罪ニ依リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

第十六條 退隱料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ其ノ間之カ支給ヲ停止ス

一、判任以上ノ官ニ任シ又ハ府縣ノ吏員職員ニ任シ日給手當以外ノ給料ヲ受クルトキ

二、禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ間

第三章 退職給與金

第十七條 縣吏員及職員勤続一ヶ年以上ニシテ第十條第一項各號ノ一ニ當ルトキハ一時退職給與金ヲ給ス但シ退隱料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ退職給與金ハ退職當時ノ俸給半ヶ月ニ勤続年數ヲ乘シタル額トス

第十八條 縣吏員及職員左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ其ノ遺族ニ扶助料ヲ給ス

一、退隱料ヲ受ケ又ハ受クヘクシテ死亡シタルトキ

二、在職十五年以上ニシテ在職中死亡シタルトキ

三、職務ノ爲傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ在職中死亡シタルトキ

扶助料年額ハ前項第一號ノ場合ニ在リテハ其ノ退隱料年額ノ三分ノ一第二號ノ場合ニ在リテハ第十條ニ依リ算出シタル退隱料年額ノ三分ノ一トシ第三號ノ場合ニ在リテハ第十一條ニ依リ算出シタル退隱料年額ノ三分ノ二トス

第十九條 扶助料ハ之ヲ寡婦ニ給ス寡婦死亡シ又ハ扶助料ヲ受クヘカラザルトキハ子ニ給ス
數子間ニ在リテハ法定家督相續ノ順位ニ依リ最先者ニ給ス

最先者死亡シ若ハ扶助料ヲ受クヘカラサルトキハ順次々位者ニ轉給ス

養子ニハ家督相續人タル者ノ外扶助料ヲ與セス

第二十條 扶助料ヲ受クヘキ寡婦及子ナキトキハ扶助料ハ之ヲ直系尊屬ニ給ス

前項ノ場合ニ在リテハ先ツ父ニ給シ父死亡シ又ハ之ヲ受クヘカラサルトキハ母ニ給ス母ヨリ祖父ニ祖父ヨリ祖母ニ轉給スルハ順次此ノ例ニ依ル

第二十一條 前二條ニ於テ寡婦子尊屬ト稱スルハ縣吏員タリシ者死亡ノ當時ヨリ引繼キ其ノ家ニ在ル者ヲ云フ父母亡後出生シタル嫡出子ハ死亡當時其ノ家ニ在ル者ト看做ス但シ此ノ場合ニ於ケル扶助料ノ支給ハ出生ノ翌月ニ始マル

第二十二條 遺族左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ扶助料ヲ受クルノ權利ヲ失フ

一、國籍ヲ喪失シタルトキ

二、六年ノ懲役若ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレ又ハ舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタルトキ

三、其ノ家ヲ去リタルトキ

四、寡婦婚姻シタルトキ

五、子年齡滿二十歳ニ達シ又ハ婚姻シタルトキ

六、尊屬タル女ノ婚姻シタルトキ

第二十三條 扶助料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ルノ間之カ支給ヲ停止ス

前項ノ場合ニ在リテハ其ノ停止ノ間第十九條第二十條ノ順位ニ依リ之ヲ次位者ニ轉給ス

第二十四條 勤続一年以上ノ者在職中死亡シタルトキハ其ノ遺族ニ一時扶助金ヲ給ス但シ扶助料ヲ

受クヘキ場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ扶助金ハ死亡當時ノ俸給ニケ月分ニ當ル額トシ尙勤続三ケ年以上ノ者ニハ一年毎ニ俸給年額百分ノ一ヲ加給ス

附 則

第二十五條 本則ハ明治四十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

縣吏員給料旅費退隱料療治料給與規程ハ之ヲ廢止ス

第二十六條 本則施行以前ニ係ル縣吏員及職員ノ在職年數ハ之ヲ通算ス

第二十七條 本則ノ施行ニ關スル細則ハ知事之ヲ定ム

○嚴手縣吏員職員退隱料退職給與金及遺族扶助料支給細則
告示第七十號(明治四十四年四月二十一日)

(沿革) 大正三年二月告示第五三號改正(大正六年九月告示第三二五號改正)

嚴手縣吏員退隱料退職給與金及遺族扶助料支給細則左ノ通り定ム

嚴手縣吏員職員退隱料退職給與金及遺族扶助料支給細則

第一條 縣吏員職員退隱料退職給與金及遺族扶助料支給細則ニ依リ退隱料又ハ退職給與金ヲ請求スル者ハ其ノ請求書ニ退隱料ニ在リテハ在職中ノ履歷書及戶籍謄本退職給與金ニ在リテハ在職中ノ履歷書ヲ添付シ知事ニ差出スヘシ

縣吏員職員退隱料退職給與金及遺族扶助料支給規則第十三條若ハ第十四條ニ該當スル者ノ請求

書ニハ前項書類ノ外前ニ受ケタル退隱料証書若ハ退職給與金証書ヲ添付スヘシ

第二條 職務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ退隱料ヲ請求スル者ハ前條ニ掲クル書類ノ外左ノ書類ヲ以テ其ノ事實ヲ証明スヘシ

一、傷痍又ハ疾病ノ職務ニ起因シタル事實ヲ認ムヘキ証據書類
二、醫師ノ診斷書

第三條 縣吏員職員退隱料退職給與金及遺族扶助料支給規則ニ依リ扶助料又ハ一時扶助金ヲ請求スル者ハ其ノ請求書ニ扶助料ニ在リテハ戶籍謄本及第四條乃至第七條ノ書類一時扶助金ニ在リテハ戶籍謄本ヲ添付シ知事ニ差出スヘシ

第四條 職務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ在職中死亡シタル者ノ遺族ニシテ扶助料ヲ請求スル者ハ第二條第一號及第二號ノ書類ヲ添付スヘシ

第五條 退隱料ヲ受ケタル後死亡シタル者ノ遺族ニシテ扶助料ヲ請求スル者ハ死者ノ受ケタル退隱料証書ヲ添付スヘシ

第六條 扶助料ヲ受クル者死亡シ又ハ權利消滅シタルトキ其ノ扶助料ノ轉求スル者ハ前者ノ扶助料証書ヲ添付スヘシ

第七條 扶助料ヲ受クル者六年ノ懲役若ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレ又ハ舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタルニ依リ扶助料ノ轉給ヲ請求スル者ハ其ノ事實ヲ証明スヘキ確定裁判ノ謄本ヲ添付スヘシ

第八條 知事ニ於テ退隱料退職給與金遺族扶助料若ハ一時扶助金ノ支給ヲ許可シタルトキハ証書ヲ

作リ之ヲ本人ニ交付ス

第九條 退隱料及扶助料ハ其ノ年額ヲ四分シ四月七月十月一月ニ於テ其ノ前二ヶ月分ヲ支給ス但シ退隱料又ハ扶助料ヲ受クル者死亡シ又ハ權利消滅シ若ハ停止スルトキ及一時支給ノ金額ハ期月ニ拘ラス之ヲ支給ス

第十條 退隱料又ハ扶助料ヲ受クル者死亡シ又ハ權利消滅シ若ハ停止スヘキ事由發生又ハ消滅シタルトキハ其ノ遺族又ハ本人ヨリ之ヲ知事ニ届出ツヘシ

第十一條 退隱料又ハ扶助料証書ヲ亡失シタル者ハ其ノ事由ヲ具シ知事ニ届出ツヘシ此ノ場合ニ於テ知事ハ証書ノ謄本ヲ作り之ヲ本人ニ下付ス

前項証書ノ謄本ハ本証書ト同一ノ効力アルモノトス

第十二條 退隱料又ハ扶助料ヲ受クル者氏名ヲ改メタルトキハ第八條ノ証書ヲ添ヘ知事ニ届出ツヘシ

知事ニ於テ前項届出ヲ受ケタルトキハ証書ノ裏面ニ其ノ事實ヲ記載シ署名捺印ノ上之ヲ本人ニ下付ス

第十三條 退隱料並遺族扶助料ヲ受ケムトスル者ハ毎支給期月ノ十日迄ニ其ノ証書ヲ居住地ノ市町村長ニ提示シ左記書式ノ請求書ニ第十四條ノ証明ヲ受ケ知事ニ提出スヘシ但シ死亡若ハ權利停止消滅ニ際シテハ期月ニ拘ラス本條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十四條 市町村長ハ第十三條ニ依リ証明ヲ請フ者アリタルトキハ其ノ証書ヲ檢閲シ尙退隱料受給者ニ在リテハ巖手縣吏員職員退隱料退職給與金及遺族扶助料支給規則第十五條及第十六條遺族

扶助料受給者ニ在リテハ第二十二條及第二十三條ニ抵觸スルノ有無ヲ調査証明シ本人ニ返付ス
ヘシ

附 則

本則中市町村長トアルハ市制町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ戸長又ハ之ニ準スヘキモノトス

(書式)

請 求 書

縣吏員(職員)退隱料(遺族扶助料)年額何圓

一金何圓也

但何年何月ヨリ何年何月ニ至ル三ヶ月分

(死亡又ハ權利消滅若ハ支給停止ノ時ハ其ノ事由)
年月日ヲモ記入シ算出ノ基礎ヲ明ニスヘシ

右 請 求 候 也

何年何月何日

原籍何府縣何(市町村)大字何、何番戶

現住地何府縣何(市町村)大字何、何番戶

元巖手縣(何技師、技手)
又ハ何々

何

某

(印)

或ハ

元(故)巖手縣(何技師、技手)何某寡婦其他續柄

又ハ何々

何

某印

巖手縣知事宛

○和歌山縣告示第三三五號

大正六年十月三十一日限リ海草郡和歌浦町巡查部長派出所ヲ廢止ス

大正六年十月二十六日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

○町村吏員異動

○大正六年十月二十三日認可

伊都郡高野口町助役(有給)

八塚金次郎

○大正六年九月下半期氣象表(前年對照)

和歌山測候所觀測

日	種目	年別	平均	最高	最低	溫度	平均	日照	風速	平均	風向	最多	降水	天氣	記	事
十六日	前年	二五、二	二九、三	二二、〇	八七	四、一	二、五	西南	〇、六	曇	朝露午後微雨 晝間微雨夜露					
十七日	前年	二六、〇	三〇、二	二〇、八	八四	一、〇、四	三、五	西南	〇、三	曇	朝露午後微雨 晝間微雨夜露					
十八日	前年	二六、一	三〇、八	二〇、四	八四	一、一、一	三、五	東北	〇、三	曇	朝露午後微雨 晝間微雨夜露					
十九日	前年	二六、四	三二、二	二二、一	八三	一、〇、一	二、八	東北	〇、三	曇	朝露午後微雨 晝間微雨夜露					
二十日	前年	二五、八	三〇、二	二一、八	八四	一、〇、六	三、一	東北	〇、三	曇	朝露午後微雨 晝間微雨夜露					
廿一日	前年	二六、一	三〇、九	二二、一	八二	一、〇、九	三、六	北々西	〇、三	曇	朝露午後微雨 晝間微雨夜露					
廿二日	前年	二四、一	二九、五	一九、五	九三	〇、五	二、三	東北	五、一	雨	朝露午後微雨 晝間微雨夜露					
廿三日	前年	二四、二	二九、五	一九、五	九四	一、七	三、八	東北	六、七	雨	朝露午後微雨 晝間微雨夜露					
廿四日	前年	二五、一	二九、五	一九、五	八六	一、七	三、一	東北	四、七	雨	朝露午後微雨 晝間微雨夜露					
廿五日	前年	二七、〇	三〇、八	二〇、六	九八	一、八	五、一	北々東	〇、〇	雨	朝露午後微雨 晝間微雨夜露					
廿六日	前年	二六、一	三〇、五	二〇、二	九七	一、八	一、四	西南	三、一	雨	朝露午後微雨 晝間微雨夜露					

雜記

本年本月ノ氣象現象ヲ平年ト比較スルニ本年ノ方氣溫ハ平均一度ニノ高溫ニシテ日照時數ハ五十時間降水量ハ六十二耗一(一)坪ニ對シ一石一斗四升)ノ多照多雨ヲ呈セリ因ニ本年ノ昨年及ヒ平年ニ比シ多雨ナリシハ廿九、三十ノ兩日ニ亘リ颶風ノ襲來ニ伴フ暴風雨ニシテ稀有ノ現象ナリキ

月平均	日	三十日	廿九日	廿八日	廿七日
本年 前年	本年 前年	本年 前年	本年 前年	本年 前年	本年 前年
二五、 二四、 四一、 二八、 五六、 二二、 一三、 四	二〇、 一九、 〇二、 〇三、 八五、 一一、 四	一七、 一六、 九二、 二〇、 二七、 一八、 八	一六、 一五、 二〇、 二二、 二二、 一三、 二	二〇、 一九、 二〇、 二六、 二五、 二〇、 九	二四、 二四、 二〇、 二八、 二二、 一九、 九
八三、 二五、 五	九六、 八、 一	九二、 〇、 三	七五、 五、 五	八一、 三、 七	二、 一、 五
二、 九、 〇 東北東	三、 五、 九 東北東	二、 三、 七 東北東	三、 五、 〇 東北東	二、 一、 五 東北東	九、 八、 九 雨
二、 六、 一 晴	〇、 一、 一 晴	〇、 一、 一 晴	〇、 〇、 二 晴	〇、 〇、 二 晴	一、 九、 八 雨
朝露終日降雨午後四ニ電雷 昨雨午前歇	朝露夜午前ヨリ降雨 昨雨強弱混降連續夜暴風	朝露夜午前ヨリ降雨 昨雨強弱混降連續夜暴風	朝露夜午前ヨリ降雨 昨雨強弱混降連續夜暴風	朝露夜午前ヨリ降雨 昨雨強弱混降連續夜暴風	朝露夜午前ヨリ降雨 昨雨強弱混降連續夜暴風

大正六年十月二十五日印刷
大正六年十月二十六日發行
每月六曜日金曜日發行

和歌山縣知事官房

印 和歌山縣知事官房
發行所 和歌山縣知事官房
江川印刷部